

トルコギキョウ切り花におけるR T F 苗を 利用した栽培体系

農業研究センター 農産園芸研究所花き研究室
担当者：工藤陽史

研究のねらい

これまでにトルコギキョウの抑制栽培では、花芽分化ができる態勢にある（Ready to Flower, 以下 R T F と省略）苗を定植することで、計画生産と商品化率の向上が図られることを明らかにしている（農業の新しい技術 No. 650（平成 24 年 5 月））。本技術活用効果の最大化と円滑な普及を図ることを目的に R T F 苗を育苗するために必要な管理（以下 R T F 処理と称す）と本圃管理を明らかにする。

研究の成果

1. R T F 苗の定義は、「抽だいているが未分化でかつ老化していない活力のある苗」である。この定義にあった苗を育苗するための R T F 処理を育苗施設ごとに対応したレベル 1～3 で整理している（図 1、表 1）。
2. 本葉 2 対半展開以降のステージで育苗期間が 1 週間を超える場合は、昼温を 25℃以下とすることで昼温 28℃より生育速度と茎伸長を抑えることが可能で、定植後の主茎節数と切り花長の確保に有効である（農業研究成果情報 No. 668（平成 26 年 5 月））。
3. 底面吸水での R T F 苗の育苗は、288 穴セルトレイで生育が早く、地上部、根ともに充実した苗となる。288 穴セルトレイで育苗した R T F 苗を定植した栽培では、収穫期の遅延がなく、無駄な枝の発生が少なく、効率的に 3 枝-3 花-3 蕾の秀品を生産することができる（農業研究成果情報 No. 669（平成 26 年 5 月））。

普及上の留意点

1. R T F 苗を利用した栽培体系の詳細については、「トルコギキョウ切り花における R T F 苗を利用した栽培指針（仮称）」（「熊本県花き振興推進会議」平成 26 年 5 月作成）を参照。
2. 底面吸水で育苗する場合は、本葉 3 対以降での水温 15℃以下で根腐れが発生するため、最低設定温度は 16℃以上とする。
3. R T F 苗は、深植えにすると活着促進と茎の曲り防止が図られる（図 2）。
4. R T F 苗は、定植後の生育が早いため、定植直後から活着するまでを液肥施用もしくはこまめな株もと灌水で、活着前に株が老化することを防ぐ必要がある。定植時に展開していた葉より合掌していた葉が大きく展開したら活着したと判断する（図 3）。
5. 定植後の生育が早いため、生育初期の茎は細く、軟弱に見えるが（図 3）、老化せずに活着すれば茎は生育期間とともに太くなり、側枝も確保され、収穫時の切り花ボリュームは確保される（図 4）。
6. 発蕾期以降を涼温（昼温 22～25℃程度、夜温 10℃程度）で管理すると切り花ボリューム確保と日持ち向上が図られる（農業の新しい技術 No. 661（平成 25 年 5 月）、図 4、図 5）。

[具体的データ]

熊本県農林水産部

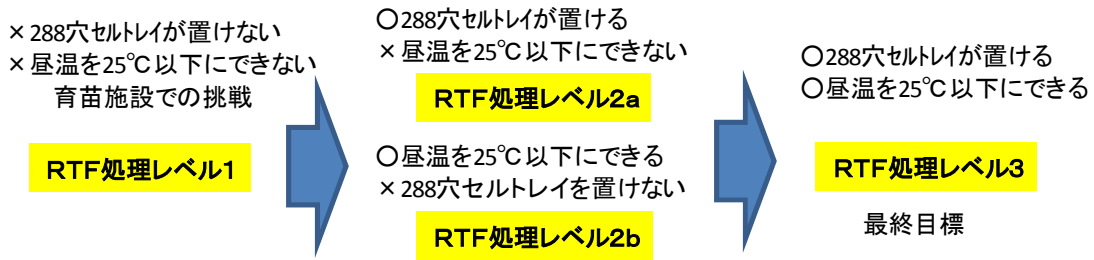


図1 RTF処理の取り組みレベル

表1 育苗施設に対応したRTF処理の取り組みレベルとその効果

処理レベル	冷房育苗施設状況	RTF処理	効果
レベル1	<ul style="list-style-type: none"> 共同育苗 育苗施設が狭い (288穴セルトレイが置けない) 冷房能力が低い (昼温を25℃以下にできない) 	<ul style="list-style-type: none"> 保肥力の高い育苗培土を使用 生育ステージにあわせたこまめな液肥施用 (底面吸水による溶脱防止) 抽だい揃い時の適期定植 定植期に合わせた (早晩性) 品種の選定 	<ul style="list-style-type: none"> 生育が揃う 開花遅延防止 (農業の新しい技術No. 650参照) 暖房費削減
レベル2	a	<ul style="list-style-type: none"> レベル1のRTF処理プラス 288穴セルトレイでの底面吸水育苗 (底面吸水による溶脱防止) 	<ul style="list-style-type: none"> レベル1より良質の苗で秀品率が向上する (農業研究成果情報No. 参照)
	b	<ul style="list-style-type: none"> レベル1のRTF処理プラス 生育ステージにあわせた温度管理 本葉2対半から3対展開以降の昼温25℃以下 	<ul style="list-style-type: none"> レベル1より良質の苗で切り花規格が長くなる (農業研究成果情報No. 参照) 予定する定植日に定植が可能
レベル3	<ul style="list-style-type: none"> 面積に余裕がある (288穴セルトレイが置ける) 冷房能力が低い (昼温を25℃以下にできる) ※2段階育苗施設の保有でも可 	レベル2 a と 2 b 両方のRTF処理	<ul style="list-style-type: none"> 品質の安定した切り花の計画的生産が可能



図2 定植時の状況(深植え)



図3 定植10日後の状況



図4 収穫期の状況(11月10日)

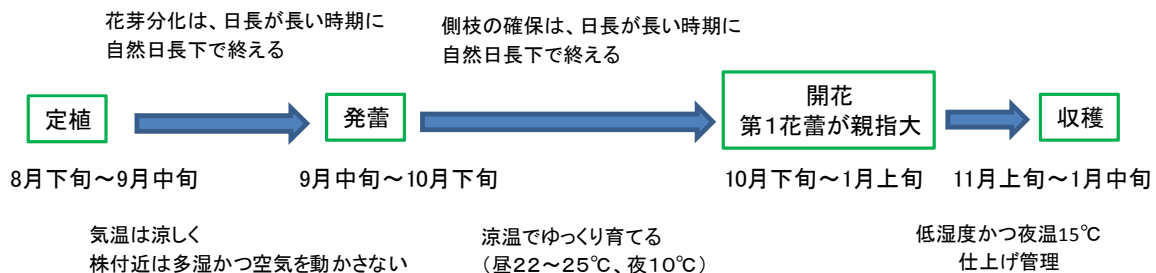


図5 平坦・島嶼地域の抑制栽培(11月~1月中旬出し)における中早生品種を用いた場合のRTF苗定植した本圃管理モデル